提出先：kanri-chizai@jmj.tmu.ac.jp

2021年12月改訂

管理番号	産学公記入欄
担当URA	産学公記入欄

職務発明届　　特許

記入日	2021/10/29

産学公連携センター長　殿

下記の発明をしましたので届け出ます。

1. 発明の名称	**の製造装置及び製造方法				
2. 発明者（学内）	full name/氏名	所属	E-mail/Tel	教員/学修番号	発明寄与率
学内代表発明者	Miyako　Ritsutarou 都　立太郎	＊＊＊学部＊＊＊学科	Miyako*****@tmu.ac.jp 042-***-****	1******	50.0%
学内発明者	Takahashi　Miyako 高橋　京	＊＊＊学部＊＊＊学科	takahashi*****@tmu.ac.jp 042-***-****	2******	30.0%
学内発明者	Miyako　Ron 宮古　論	＊＊＊学部＊＊＊学科	m-ron*****@tmu.ac.jp 042-***-****	3******	20.0%
学内発明者					
学内発明者					
学内発明者					
学内発明者					
学内発明者					
学内発明者					
発明者に関する備考欄					

学内の発明者をご記入下さい。

各発明者の発明への寄与率を、合計して100%になるように、ご記入ください。

企業や他大学等と共同で出願を希望する場合には「共同」を選択し、本法人に加えて、相手先をご記入ください。

権利持分について、本法人を入れて100%となるようにご記入ください。出願～権利化の費用負担率についてもご記入ください。

3. 単独/共同		共同出願人名	権利持分	費用負担率
☐ 単独	共同出願の場合	東京都公立大学法人	50.0%	50.0%
☑ 共同		University　of Miyacoloon	50.0%	50.0%
共同出願に関する備考欄				

発表や予稿集、論文などによって発明が公開されますと、新規性を喪失し権利化が困難になります。必ずご記入ください。

4. 発表						
☑ 発表の予定がある	予稿公開	☑ 有 ☐ 無	予稿公開日	2021/11/15	発表先	日本マシン・マニュファクチャリング学会2021年大会
					発表日	2021/12/5
☐ 既に発表してしまった*1	*1 **発表済み発明の学会等の情報については発明者自身が別添で提出してください。**発表済みの発明は出願費用が高くなる、権利化までの難易度が上がる、活用が難しい等大きなデメリットがあります。届出は原則、未発表の発明に限るようお願いします。					

5. 発明の創出に使用した研究費		
☐ 当校費　☐ 共同研究費　☐ 受託研究費　☐ 特定研究寄付金		
☐ 科研費　☑ 競争的資金（科研費以外）　☐ その他（　　）		
共同研究費の場合	研究題目＊2	
	契約相手	
受託研究費の場合	研究題目＊2	
	契約相手	
*2 研究題目は、共同研究／受託研究契約書に記載されています。契約時に事務担当より送付された各契約書をご参照の上、ご記入ください。		
科研費の場合 研究種目		
競争的資金の場合 事業名	平成▲▲年度○○○機構「＊＊＊＊＊＊プロジェクト／研究開発項目１（１０）新世代＊＊＊＊＊＊＊技術開発／＊＊＊＊＊＊＊技術の研究開発」	

6. 外国出願	
☐ 希望する＊3 ☑ 希望しない	＊3 外国出願は、原則JST権利化支援事業に申請し、採択を受けた場合のみ行います。なお、**発表済みの発明は原則として外国出願はできません。**「希望する」と選択された案件については、担当者からJST申請要否の確認の連絡を差し上げます。

管理番号	産学公記入欄

7. 技術内容

【発明の概要*4 】　*4 発明についての理解を補足する関連資料（図面などを含む）もご提出ください。

本発明は、＊＊＊＊の装置（システム）及び＊＊＊製造方法に関するものである。
特に、＊＊＊＊の装置の○○の部分について▲▲▲とすることで（資料参照）従来にはない効果を発揮する。

【ご存じの先行技術文献】

先行技術文献１．＊＊＊＊
先行技術文献２．＊＊＊＊
先行技術文献３．＊＊＊＊

【先行技術との相違点】

従来の製造方法は＊＊＊である（先行技術文献１）。また、＊＊＊＊という方法もある（先行技術文献２）。
さらに近年は＊＊＊＊という方法も使用されている（先行技術文献３）。これに対して、本発明は、＊＊＊である。
したがって本発明は、これらの先行技術と＊＊＊という点で相違する。

【先行技術と比較した本発明の効果】

本発明は、先行技術とは異なる＊＊＊＊＊という構成、また＊＊＊＊という工程を有することによって、＊＊＊＊＊という顕著な効果を奏する。

【権利取得したいポイント／範囲】

装置（物）の発明の特徴としては、＊＊＊＊部を水平方向と垂直方向とに複数配置した構造と、＊＊＊表面構造との組み合わせが、従来よりも顕著な効果を生み出す要因だと考えている。そのためこの配置と表面構造という特徴の権利化は必須としたい。
権利範囲だが、
第一希望は、これらの組み合わせのみの特徴、
第二希望は、＊＊＊部を水平方向に＊＊＊個、垂直方向に＊＊＊個配置し、図１の通りとする特徴、
第三希望は、表面構造の最大深さを50nm～1μmの範囲としたい（50～100nmの構成で顕著な効果を奏しているが、製造コストを鑑みると1μmまで範囲を広げたい）。
また、製造方法の発明では、製造工程A、B、C、Dのうち、特に工程A、工程Bにより最も顕著な効果を得られている。今後、工程Aを改良することによって、さらに高品質の装置が製造できる可能性があるので、方法発明としても権利化したい。

8. 産学官イベント等での広報

実施許諾先や共同研究先等を探索するため、各種展示会や技術説明会等のイベントにて本法人の発明として広報します。この発明を実施したいという企業等からの打診が既にある場合は「同意しない」を選択してください。

☐ 同意する
☑ 同意しない

同意しない場合その理由：既に企業から実施許諾契約を結びたいとの連絡を受けているため

9. 発明の実施先について

☐ 共同研究先が実施する予定
☑ 企業から実施希望を打診された/実施先候補を挙げることができる

実施（候補）企業名：（株）MIYAKO-TORITSU